

プログラム番号：2209

## 「2022年度 八大学工学系連合博士フォーラム企画内容」

【フォーラムの主旨】 国際社会における日本の研究力の低下が話題を集めています。この問題を解決するためには、研究活動において中心的な存在である博士を、日本社会がどのように扱うかが重要であると考えられます。このフォーラムでは、博士号が持つ価値を改めて議論し、その価値を社会において最大限活用する方策を求めることを目的とします。このために、日本の科学技術政策を担う行政機関、および博士が活躍する場の一つである産業界から講演を頂くとともに、パネルディスカッションを実施します。また、現役の博士課程学生や、博士課程への進学を考えている方々に対して、博士号を取得した後に社会で活躍するためのキャリアパスを考える助けになることも目的としています。

### 【プログラム】

● 13：00 開会 ●

13：30～15：20 基調講演 ○ 文部科学省職員（調整中）（40分） ○ 三菱電機株式会社 開発本部 古藤悟 様（40分） ○ 質疑応答（30分）

● 15：20～15：30 休憩 ● 15：30～16：30 パネルディスカッション ○ 登壇者：・文部科学省職員（調整中）・三菱電機株式会社 開発本部 古藤悟 様・京都大学工学研究科長 榎木哲夫 教授・株式会社 EXELIM 代表取締役 飯田和則 様・京都大学総合博物館 塩瀬隆之 准教授（ファシリテータ）○ 概要：基調講演者に加え、大学研究者、および博士号を取得後ベンチャー企業で活躍している飯田様をパネリストに招く。博士号の価値を活かす社会をつくる上で、現状を改善する提案をするために、パネリスト各々の視点から問題意識とその原因を洗い出すことを目的とする。 ● 16：30～16：45 休憩

● 16：45～17：45 グループディスカッション ○ 全参加者を3～4つにグループ分けし、それぞれにパネリストを加えてグループ討論を行う。先行して実施されたパネルディスカッションを踏まえて、各々のグループの領域に焦点を当て、日本社会が博士号の価値を最大限に活用する方策を提言することを目的とする。○ オンライン参加者も対面参加者と同様にグループに分けて参加。・グループ(1)「産業」博士は産業界で活躍するためにどうやって自分の価値を売り込めばよいのか、などの問いを主題に据えて議論する。・グループ(2)「ベンチャー+海外(仮)」ベンチャー企業、あるいは起業で活躍するために博士号の価値はどう役に立つか、その価値を最大化するためにはどのような支援があるべきか、などの問いを主題に据えて議論する。・グループ(3)「アカデミア(仮)」博士課程や若手研究者に焦点を当て、大学を含めた研究業界の状況を改善するためにどのような政策が考えられるか、などの問いを主題に据えて議論する。・グループ(4)「行政(仮)」日本社会が博士号の価値を最大限に活用するために実施すべき政策は何か、などの問いを主題に据えて議論する。

● 17：30～17：45 休憩 ● 17：45～18：00 クロージング

【日時】 12月9日（金）13時～18時（時間は予定）

【場所】 〒615-8530 京都市西京区京都大学桂 船井哲良記念講堂

【テーマ】 日本が描く博士の未来～博士号取得者をどうしたいのか～

【開催方式】 ● 京都大学桂キャンパス船井哲良記念講堂

● 一般参加はオンライン参加可

5時間参加された場合はGLAFS演習5ptの獲得になります。

\* 参加時間数によって、ポイント数は変わります。

\* 参加後に高齢社会演習のレポートを提出ください。

レポート提出先：[info@glafs.u-tokyo.ac.jp](mailto:info@glafs.u-tokyo.ac.jp)

下記のウェブサイトよりお申し込みください。

<オンライン参加（12月2日（金）締め切り）>

<https://forms.gle/Xkx7XJCKkKAFXUAN6>